Q-SYS Core 110f ● DSP シグナルプロセッサー

特長

■ 8 ×マイク / ライン入力
■ 8 × ライン出力
■ 8 × フレックスチャンネル
■ 128 × 128 Q-LAN ネットワークオーディオチャンネル
■ 16 × 16 USB オーディオチャンネル
■ 16 × 16 GPIO ポート
■ 1 × POT テレフォンインターフェース
■ 4 × VoIP 回線
■ 16 系統に自由にルーティング可能なエコーキャンセラー
■ユニバーサルパワーサプライに加えて DC12V パワーサプライ入力端子（電源の 2 重化に対応）
■ Q-LAN A/Q-LAN B 端子
■制御用 RS-232C
■ Q-SYS Designer による柔軟なシステム設計が可能
■オーディオプレイヤー、オーディオレコーダー、エフェクター、ゲインシェアリング、オートミキサー、FFT、RTA、Event log、LUA スクリプトなどの機能に対応
■ 1U ラックマウントサイズ

概要

QSC が従来シグナルプロセッサーの概念を捨てて、一から考えられたものが「Q-SYS」です。Q-SYS の設計コンセプトは「シンプル」、「パワフル」、「IT フレンドリー」、がベースとなった集中型シグナルプロセッサーです。Q-SYS は最大 512 入力 /2048 出力に対応する非常にパワフルなプロセッサーです。しかし、中身はシンプルな作りでユーザーが簡単に大規模なシステムを構築することが可能です。Q-SYS は今までの DSP の概念を打ち破り、どんなシステムにも柔軟に対応し、システムプランニングの幅を広げてくれるでしょう。

Q-SYS™Core 110f は、Q-SYS Core ファミリーに追加された最新の Q-SYS Core で、小規模なシングルルームプロジェクトからエンタープライズ規模のプロジェクトまで幅広いソリューションを提供します。

音響特機 株式会社

Q-SYS Core 110f ● DSP シグナルプロセッサー

仕様

入力周波数応答	20Hz ～ 20kHz @ + 21dBu	+ 0.05dB / -0.5dB
入力 THD + N1KHz	@ + 21 dBu 感度 /+ 21 dBu 入力	< 0.1%
	@ + 21 dBu 感度 /+10 dBu 入力	< 0.0015%
	@ + 10 dBu 感度 /+8 dBu 入力	< 0.0007%
	@ -10dBu 感度 /-10.5dBu の入力	< 0.0006%
	@ -39 dBu 感度 /-39.5 dBu 入力	< 0.007%
EIN（負荷無し、20Hz ～ 29kHz）	<-121dB	
1kHz 入力クロストーク入力	110dB 以上、最大 90dB	
入力ダイナミックレンジ	@ +21 dBu 感度	> 109.5dB
	@ +10 dBu 感度	> 106.4dB
	@ -10 dBu 感度	> 104.6dB
	@ -39 dBu 感度	> 104.6dB
入力コモンモードノイズ除去	@ + 21 dBu 感度	50.7dB
	@ +10 dBu 感度	56.5dB
	@ -10 dBu 感度	73.2dB
	@ -39 dBu 感度	63.2dB
入力インピーダンス	公称 5K Ω	
入力感度（1dB ステップ）	-39dBu ～ + 21dBu（バランスのみ）	
ファンタムパワー	+ 48V DC、入力あたり最大 10mA	
サンプリングレート	48kHz	
A / D - D / A コンバータ	24 ビット	
出力周波数応答	20Hz ～ 20kHz	+ 0.2 / -0.5dB
	出力 THD 0.003%	+ 10dBu 最大出力レベル
出力クロストーク@ 1khZ	> 100dB、最大 90dB	
出力ダイナミックレンジ	> 108dB	
出力インピーダンス	220 Ω	
出力レベル：（1dB ステップ）	-39dBu ～ + 21dBu max	
USB B	ビットレート	16 ビット /24 ビット
	チャネル数	最大 16x16
	サンプルレート	48kHz
消費電力	通常時 60W、最大 120W	
BTU/ 熱負荷	205 BTU/ 時	
寸法	H × W × D	44 × 483 × 282.5 (mm)
重量	5.0 kg	

音響特機株式会社